

平成 30 年度第 2 回富山県環境審議会大気騒音振動専門部会

議事概要

1 日時

平成 31 年 2 月 5 日（火）午後 2 時～3 時 30 分

2 場所

富山県民会館 704 号室

3 出席者

委員：西川専門部会長、飯田特別委員、青木専門員、成瀬専門員、平原専門員、
本江専門員、渡辺専門員

事務局：横井生活環境文化部次長、中島環境保全課長 他

4 議事

(1) 第 1 回大気騒音振動専門部会における意見の概要と対応案

事務局から、第 1 回大気騒音振動専門部会における意見の概要とその対応案について説明し、質疑が行われた。

(2) 「大気環境新モニタリング体制の構築について」報告書（案）

事務局から、「大気環境新モニタリング体制の構築について」報告書（案）について説明し、質疑が行われた。

報告書（案）については了承され、最終報告書のとりまとめと環境審議会への報告については部会長に一任することとなった。

5 主な意見・質疑等

○ 第 1 回大気騒音振動専門部会における意見の概要と対応案

（委員）

風向風速はその観測局のデータを使ったということか。その場合、風速は 10m/s で切っており、10m/s 以上は 10m/s でも 30m/s でも同じになっている。使っているデータがどのようなものか理解しないときちんと解釈できないので、慎重に解析をお願いしたい。

（部会長）

風向風速のベクトル解析を加味していただいたのはよいが、まだ少し検討の余地があるのではないかということであった。使用した風向風速データについても偏りがないかということをもう一度精査していただきたい。

第 1 回のご意見を踏まえ、風向風速を加えてこのような集約化の結果となっているが、呉西呉東という県民感覚からするとだいぶ実態に近付いてきたと思う。

○ 「大気環境新モニタリング体制の構築について」報告書（案）

（委員）

「基本的な考え方」で「効果的かつ効率的な」という言葉が何度も出てくる。なおかつその前に「より」が付いているところ（より効果的な）と付いていないところがある。集約するわけであるから効率的になるというのはよくわかるが、効果的とは一体何か。

効果的というのは、集めたデータが効果を発揮するという意味と、予算が効果的に使われるという意味の両方あるのかと思ったが、何をもって効果的と言っているのかよくわからなかった。

「今後の大気環境モニタリングに関する提言」で「県民へのより分かりやすい情報提供方法の構築」とあるが、「より分かりやすい」は不要ではないか。また、「情報提供方法の構築」というのはおかしい。「情報提供の推進」又は「情報提供の改善」が適切だと思う。

次はコメントだが、調査報告書の目的に「科学的な検討を行い」と書いてある。これは「統計的な」あるいは「クラスタリング分析に基づいた検討を行い」と書かないと誤解を与える。

(事務局)

まず1つ目の「効果的、効率的」について、ここでいう効果的とは1つの局でなるべく広いエリアを測るようにするという意味で使っている。「より」というのも、過去に適正配置計画を3回検討してきており、今までより、という意味である。「より」が付いているところと付いていないところは使い分けているつもりだが、精査したい。

2点目の提言について、「方法の構築」というのは正しくないので、「より分かりやすい情報提供の推進」でどうか。「改善」となると今のものがあまりよくないという意味もある。

(委員)

「効果的な」ではどうか。「より分かりやすい」というのは必要か。

(事務局)

それでは、「県民への効果的な情報提供の推進」とさせていただきたい。

また、「科学的」という言葉についてコメントいただいたが、例えば「技術的」といった言葉ではどうか。

(委員)

「クラスタリング分析に基づいた」というのが一番正確だと思う。それを括ると「統計的」であり、さらにそれを括ってわかりにくくしたのが「科学的」という言葉だと思う。

(事務局)

報告書(案)の「はじめに」に「科学的」という言葉がある。ここを「技術的」とすればよいか。

(委員)

「クラスタリング分析などの観点からの解析」とし、「科学的な」を取ればよい。

(事務局)

ご指摘のとおり修正する。

(部会長)

修正する点については、国の文書とも整合をとっていただきたい。

(委員)

今の話に関連するが、「安全・安心」という言葉も同列に並べるのはおかしいと思う。県が言うのであれば「安全を確保するため」であり、「安心」はその結果の話ではないか。

(事務局)

「安全・安心」という言葉は、県の総合計画から持ってきたものである。安全という言葉よりもさらに県民の安心を構築することも必要だという観点から付けさせていただいた。

(部会長)

キャッチフレーズ的というか、サイエンスのつながりはないが、富山県の総合計画で使っていることもありご理解いただきたい。

(委員)

参考資料では今後の新たな課題としていろいろ挙げられていて、今までどおりモニタリングはきちんとしていただければありがたいが、最近気になっているのは「2 健康被害の防止」である。

アスベストは以前からそうだが、水銀に関する規制の改定により、大気だけではなく水質や土壌等いろいろなところをさらに注視する必要がある。富山県は神通川の問題もあったので、先陣を切ってきれいな富山という意味で、例えば富山大学でもエコチル調査等で子供たちへの大気環境の影響等についてデータを蓄積するなど、いろいろなことをやられていると思うので、様々な機関と連携して県民のためにやっていければと思う。

(委員)

風配図は1年単位か。私も富山の気象情勢等をいろいろ調査しているが、夏と冬で主風向も強さも全然違う。この報告書はこれでよしとして、今後、夏場と冬場に分けて季節別に風配図を見ることが必要ではないか。冬場の風が強い時は大気汚染物質も飛ばされるので、夏場の風が弱くて気温が上がった時が重要である。夏場のみの風配図をデータとして持っておいた方がよい。

(事務局)

季節の違いというのはかなりあると思うので、今後調べていきたい。

(委員)

日頃の業務で研究員の方も忙しくされていると思うが、もう少し実際のデータを見たり、研究の時間を増やしたりして、こういうところにフィードバックできるような形になるとよい。もちろん大学とも連携すればよいわけで、もう少し研究協力ということができれば色々なことが分かってくるのではないかと思う。

(部会長)

夏場の無風に近い状況をピックアップして、夏場と冬場をバックデータとして持っておいていただくとありがたい。また、今後の提言ということで、官学の連携による富山県のモニタリング体制のより確かなバックデータの構築あるいは利用ということに繋がるような提言も盛り込んではいかがか、というふうに受け止めている。

(委員)

経年変化が示されているが、平均値の平均値である。先ほどのように夏と冬は違うだろうということもある。例えば、中央値、もしくは、75 パーセンタイル値等を一緒に示していけば、もっと幅が見えてくるのではないか。平均値だと結局何を見ているのかわからなくなることもあるので、今後、可能であれば表現に工夫がほしい。

低ければ低いほどよいということであれば、低いのは問題ではなく、高いということが問題である。平均値だと低いものも平等にデータとして扱うことになる。そうすると、やはりパーセンタイル値で、1年間で75 パーセンタイル値とか80 パーセンタイル値がどのくらいの数値になるかを示す方が現実的にわかりやすいと思う。

(部会長)

平均値以外に実態を掴むという意味ではパーセンタイル値はしばしば重要な役割を持つ。県の研究機関、大学の学生さん、元気のいい学生さんがたくさんいらっしゃると思うので、大学の方と上手く連携を取りつつ、より深みのあるデータ解析を県でも行っていただきたい。

(委員)

先ほど見える化とかウェブでの情報提供という話があったが、一般には折れ線グラフで

さえもわからない方もたくさんいらっしゃって、大気汚染がひどいかひどくないかくらいの情報でないと伝わらないと思う。発信の仕方が難しい。

また、後からの情報というより、本当は予報があるとよい。予報自体も難しいし、予報業務はいろいろと規約があり、勝手に行うわけにもいけないので、今後の課題だと思う。

(委員)

測定局を減らすので、県民からすると自分たちがどこの局の情報を見るとよいか分かれるとよい。地図等で示せるとよい。

(事務局)

今後の効果的な情報提供というなかで、マップ化して観測局の情報を付けるなど、自分の住んでいる所に一番近いのはどこかがわかるように、情報を付加して探しやすいようにしたい。

(委員)

課によって縦割りがあるだろうが、同じようなことをまとめてできればよいと思う。

例えば、地下水の水位データの公表等も各地域のものだと思うので、そういったものを上手く県の中で統合的にやることを少し考えていただけると、それこそ効果的、効率的になるのではないかと思う。

(委員)

富山県のホームページに「富山防災ウェブ」というものがある。大気汚染に関する情報が防災かどうかはわからないが、いろいろな情報が載っているので、少し連携されたらよいかもかもしれない。

(事務局)

リンクであればすぐにできると思うが、相談して可能であればやっていきたい。

(部会長)

いろいろと活発なご意見、今後のよりよい提言をいただいた。非常に盛りだくさんだったが、盛り込めるところは上手くまとめて、今後のまとめの中に反映させていっていただきたい。

以上